雨巻山山行報告

【山 行 日】2025年 3月 2(日)　　晴れ
【集　　合】道の駅「しもつけ」P　　AM　7:30
【費　　用】マイカー2台　：　　600円
【メンバー】CL:鈴木、 SL:藤原卜　青柳、植竹、大塚、岸、木村、嶋田、根本、福島
【コースタイム】道の駅「しもつけ」7:30＝大川戸ドライブイン P8:10/8:25～タイタニック岩 9:20/9:35～御嶽山 9:45/10:00～猪転び坂 10:40～雨巻山 11:10～展望台 11:15/11:25～雨巻山 11:30/12:25～三登谷山 12:40/12:55～大川戸ドライブイン P13:25/13:40＝道の駅「にのみや」14:20/14:35＝道の駅「しもつけ」15:00

　雨巻山にしばらく登ってなかったので、久しぶりに雨巻山を計画した。今回は親水公園からタイタニック岩を経由して、足尾山と御嶽山から周遊で雨巻山に登るコースにする。ヤマレコで見ると雨巻山は人気の山で、8:30には駐車場が満車になると書いてあるので出発を30分早くした。8:10に大川戸ドライブイン P に着くと、まだ6割くらいの駐車で充分余裕が有った。簡易トイレやベンチも整備されており、ベンチに腰かけて出発の準備を整える。トイレを済ませストレッチを行なったら出発し、「茶寮雨巻」の前の道を進む。しばらく来なかった間に案内標識が整備され、御嶽山分岐や足尾山沢コースへの分岐は標識に従って直進する。水がほとんど流れて無い沢に沿って歩き、タイタニック岩への標識に従って右に進む。これらの道や標識は3年前くらいに整備されたようだ。急坂を登り切ると尾根に出て、尾根を右に登ると小ピークにタイタニック岩がある。狭いピークだが展望は抜群で、タイタニック岩に登らないよう標識があるがそうはいかない。一人ずつタイタニック岩に登り、ポーズを決めて展望を楽しむ。ここから尾根歩きが続き足尾山を越えると一旦下り、御嶽山への急登が始まる。露岩の急坂は手強く、岩や木の根を手掛かりに登ると御嶽山山頂に着く。

山頂にはベンチとテーブルが置かれ、休憩を取って疲れた足を休める。ここからはアップダウンを繰り返しながら稜線歩きとなり、雨巻山に向かって高度を上げて行く。自然林の稜線は落葉していて明るく、展望を楽しみながら爽快に歩いて行く。ピークにはベンチが置かれていて、登山者が休憩していた。

最後の難関、猪転び坂と言われる急坂に差し掛かり、皆さん疲れた様子なので少し戻った場所で休

憩する。リンゴや菓子を食べてエネルギーを補給し、元気になったら猪転び坂を登って行く。猪転び坂は急登ではあるが、「益子いくべ会」の方々が定期的に登山道整備を行っていて、九十九折れの登山道は歩き易くなっている。ここを登り切れば山頂と思っていたが、あららまだ山頂まで登りが続いている。最後に緩やかな坂を登り切ると、広くベンチやテーブルが整備された雨巻山山頂に着く。
ザックをデポして南側の尾根を下り、すぐ先にある展望台まで足を延ばす。5分程下ると展望櫓が建つ展望台に着き、櫓に登って展望を楽しむ。周りにはベンチやテーブルが整備され、ここでランチタイムでも良かったかなと思った。山頂まで戻り、ベンチとテーブルを2つ確保し、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。景色を楽しみながらランチをいただき、お腹が満たされたら記念写真を撮って下山する。下山は西側の尾根を進み、すぐ先から北に向かって伸びる尾根を下って三登谷山へ向かう。こちらの稜線もアップダウンを繰り返しながら気持ち良く歩け、途中の小ピークからの展望も素晴らしい。赤松林の尾根歩きや岩場の登り等も有、変化に富んで楽

しく下れる。途中、粟生方面への分岐に出て、ここは尾根を右に三登谷山へ向かって進む。岩場の尾根を下り、急坂を登り返せば三登谷山山頂に着く。山頂は狭いが展望が良く、北西には日光連山まで望める。最後の休憩を取り、展望を楽しみながら菓子をいただく。ここからも北に向かって稜線上を進み、途中から標識に従って右に下って行く。ヒノキ林の薄暗い登山道を下り、橋を渡ると林道に出て左に進むと大川戸ドライブイン駐車場に着く。トイレを済ませ靴を履き替えたら車に乗り帰路に着く。往路を戻り、道の駅「にのみや」に寄ってお買い物。人気のイチゴ「やよい姫」のジェラートは長蛇の列で、藤原さんが並んだが時間切れでゲット出来なかった。
今日のコースは初めての人も、以前来たことがある人もとても楽しいコースと満足していた。